

陳 情 書

日本国憲法では義務教育は無償とすることが定められていますが、実際には学用品はじめ多くの保護者負担が生じています。給食費についても同様です。

「食育」の大切さが注目されているなかで、学校給食のはたす役割はさらに重要になっています。しかし物価高騰やコロナ禍による生活不安のもと、給食費の支払いは保護者にとって大きな負担になっています。狛江市の場合、2022年度現在、児童一人当たりの月額で小学校低学年 3,845 円、中学年 4,067 円、高学年 4,289 円、中学校 4,768 円の支出を余儀なくされています。

2022年9月、葛飾区が区立小中学校の「給食費完全無償化」を2023年度から行う方針を表明したことが大きなニュースになりました。加えて2023年3月までの期間限定で、青梅市や台東区でも無償化が行われ、お隣の世田谷区も来年度から実施予定です。

全国では無償化を実施する自治体が250自治体を超えると報道されています。すべての子どもが、給食費の心配なく平等に給食を食べられるようにするためにも、保護者の給食費負担を軽減することが求められています。

狛江市でもぜひ学校給食費の無償化を実現するため、狛江市と狛江市教育委員会の取り組みを求めるものです。以下、陳情項目です。

【陳情項目】

- 1 小中学校給食費の保護者負担を無料にしてください。
- 2 小中学校給食費を無償化するための財政措置を国及び都に求めてください。